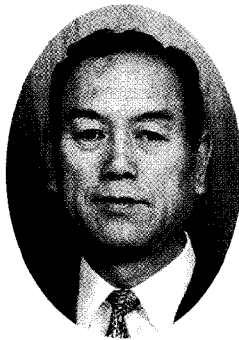




# 小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館  
〒956-0101  
新潟県中蒲原郡小須戸町  
大字小須戸117番地  
TEL (0250) 38-2234  
FAX (0250) 38-3041  
編集 公民館報編集委員会

## 2001年 新年あけましておめでとうございます 町宣言「まごころのまち小須戸町」 の具体的実践の年に



小須戸町教育長 和泉修治

いよいよ二〇〇一年、二十一世紀の幕開けです。新しい年の初春を迎えられ、町民の皆様には益々ご健勝のことと心からお慶び申し上げます。小須戸町では昨年十一月九日に、町制施行百十周年をお祝いし、まごころの町宣言を行いました。キーワードとして「まごころのまち小須戸町」を設定しました。町民の皆様には、「広報こすど」などの情報紙を通して、既にご存知のこととは思いますが、二十一世紀の最初の年にあたり、その趣旨と具体的な内容について、一層のご理解をいただくために、若干の紙面をとりさせていただきます。戦後、我が国は五十年以上にわたって、終戦後の国土の復興や生活の安定と向上のために、国民一人ひとりが一生懸命に働くことよって、生活力と経済力の増大をはかる努力をしてきました。更に科学技術の躍進によって、世界でもアメリカに次いで第二の経済大国といわれるまでに発展してきたことは、既におわかりの事ですが、二十世紀末になって、思ってもみなかったバブル経済の崩壊により、不景気は未だに回復しないままです。

一方、社会生活に眼をやれば、ここ数年來、未曾有の大事件や犯罪事件が連続し、さらに大地震や火山の噴火などの大災害が人々を苦しめている中で、おとなにかぎらず、青少年の犯罪が、しかも信じられない手口で引き起こされております。私たち国民はあまりにも物質文明に眼を奪われ、心の問題をおろそかにしてきたはいなかったでしょうか。このような社会情勢の中で、国政においても教育の重要性がとり上げられ、百年の大計を目指して、次々に政策が考えられております。学校現場では、二〇〇二年(平成十四年)からは、学校週五日制の完全実施に向けて、教育改革を進めるべく、移行措置のために懸命に努力しているところとです。二十一世紀はまさに「心の世紀」と言えるのではないのでしょうか。このような時に小須戸町が、「まごころのまち小須戸町」を宣言したことは、誠に意義のあることと考えております。

町宣言をうけて、私たち町民は一人ひとりがどのように心がけたら良いのでしょうか。町宣言を実践する具体的な目標を次の四つの柱として設定いたしました。

- 一、爽やかに まごころ
- 二、めでた あいさつ
- 三、まごころで 人との出会いを大切に
- 四、寛容の 温かい心をもち合って

これら四つの目標は「およそ人の世では、ひとり生きられるものではなく、二人以上が必ず相助け、相和して、はじめてその目的を達成することができる」という考えに立脚しております。

この四つの目標を毎日の生活の中で実践するためのキーワードは「まごころ」なのです。まごころをこめて人と接する中でこそ、より良い人間関係が築かれ、まごころの通い合う社会が実現するものであると確信しております。

このことを身近な例で引用してみます。

私たちは仕事や商売をする時に「信用」が大切であることを知っています。しかし信用は簡単には築けません。やはり、何事にも誠実に取り組む、自分のすべきことを大切にしていける日々の積み重ねの中から、自然に生まれ、培われてくるものではないでしょうか。

お客さんが買ってくれた商品が十分役立っているかどうか、気になって、電話とか葉書でたずねたり、或いは直接様子を見に立ち寄ってみるか、さらに一ヶ月後、ついで折にたずねてみる。一事が万事、どんなことにも誠心誠意、まごころから出る親身の気配りは、必ず相手に伝わって喜ばれるでしょう。その喜びの積み重ねが、確固たる信用に結びついていくのです。

私たちが毎日の生活のどの場面においても、まごころをモットーに実践することが、とりもなおさず「まごころのまち小須戸町」の実現につながるものと考えております。

新しい二十一世紀の幕開けは、町民の皆様が「まごころ」を始めようではありませんか。

「共に育つ」  
公民館を目指して」  
館長 佐藤貞夫



「共に育つ」  
公民館を目指して」  
館長 佐藤貞夫

- 小須戸町体育協会  
115名を表彰
- 県内外の大会で優秀な成績を取った町内選手をたたえる平成十二年度小須戸町体育協会表彰式が十二月二十二日(金)午後七時より中央公民館三階で行なわれました。
- 優勝競技者賞として四十一名、努力賞として七十四名の合計百十五名が表彰されました。競技別では、剣道、空手、柔道、テニス、バドミントン、野球、ソフトテニスの部門が対象となりました。
- 委員長 内山和男  
委員 森田義昭  
委員 村山睦子  
委員 田嶋富士子  
委員 保科(敬称略)
- 委員長 馬場高志  
委員 渡辺怜子  
委員 古川和彦  
委員 斎藤和彦  
委員 富重子
- 館報編集委員会  
委員長 内山和男  
委員 森田義昭  
委員 村山睦子  
委員 田嶋富士子  
委員 保科(敬称略)

### 恭賀新年

本年もよろしくお祝い申し上げます

中央公民館長 佐藤貞夫

小須戸分館長 栄森靖生  
横水分館長 野崎迪夫

矢代田分館長 平間安雄  
新保分館長 高山光栄

- 公民館運営審議会
- 議長 小柳元助  
副議長 堀川英子  
委員 阿部昭博  
委員 三輪英昭  
委員 木村英雄  
委員 木村孝一  
委員 楠原弘一  
委員 川瀬美子  
委員 八木幸子  
委員 本多幸子  
委員 森田幸子  
委員 古田恒夫  
委員 関川文子  
委員 皆川イミ子  
委員 藤田悠二  
委員 高橋勲

# 子どもに「本を好きになる種」をまこう

子ども時代にはより豊かな読書経験をしたい。欲しいものですが、きっかけさえあれば子どもは本を好きになります。読み聞かせで、大人がその機会をつくってあげることが、子どもに心の財産を授けることにつながります。

現在、公民館が開催している「子どもと楽しむための絵本講座」を契機にして、ボランティアによる読み聞かせのグループが、生まれました。

これは受講者の中で「講座で学んだことを大勢の子どもに発表したい」「いい絵本をもつ保護者にも読み聞かせを知ってもらったり、興味をもってもらいたい」等、絵本を持つ素晴らしさを自分の枠だけとせず、自分が生活している地域にまでエリアを広げて伝えていきたいというのが活動の動機です。

その活動内容としては、毎月一回、土曜日に公民館の和室を会場として「おはなしのせかいへ」という名称で絵本の読み聞かせの会を開いています。

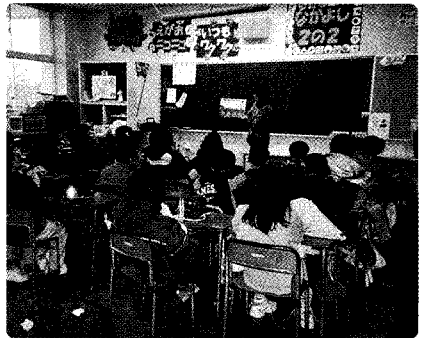
## スポーツ大会結果

### 第九回NST新潟総合テレビ旗争奪新潟県中学校選抜剣道大会

十二月三日(日)・東京学館新潟高校体育館  
準優勝 小須戸中学校男子チーム(先鋒 陸隼人、次鋒 田沢孝紀、中堅 村井仁夢、副将 竹見敬太郎、大将 高山雄太)

### 第六回潮風旗争奪柏崎剣道大会

十二月十日(日) 柏崎市総合体育館  
準優勝 小須戸剣道スポーツ少年団チーム(先鋒 大矢祥



またこれとは別に、小須戸小学校では、すでに四年前からPTA等の保護者による図書ボランティアが活動しており、読書の時間での読み聞かせや図書室の整理、お薦め本の紹介等を行って、子どもたちに大変喜ばれています。

最後に、「読書は人の心を育てる」と言われています。ボランティアと一緒に、絵本の世界に触れ、楽しさを味わっていくことで、各家庭での絵本の読み聞かせに、つながってほしいと思います。

太、次鋒 村山孝徳、中堅 石井大介、副将 青木仁孝、大将 阿達亮馬)

## 全国大会出場なる!!

### 第五回全国小学生都道府県対抗バドミントン大会

二月九日(金)～十一日(日)に広島県立総合体育館で行なわれます。バドミントンスポーツ少年団に加入している小学校六年加藤聖さんと小学校五年高山郁弥さんの二名が新潟県男子チームの選手として出場し、指導者の高野豊さんは、男子チームのコーチとして引率します。

## 催し物ご案内

### 公民館図書リサイクル

公民館図書室では、古くなくなった本を、次のように、ご希望の方にお分けします。どうぞ、おいで下さい。

日時 一月二十六日(金)から一月二十八日(日)まで  
午前十時から午後五時  
ただし二月二十六日(金)は夜間も行う。七時～九時

会場 公民館・一階図書室  
冊数 一人五冊まで  
手続き 利用者は、住所、氏名等を指定の用紙に記入していただきます。

### 絵本の読み聞かせと手遊び「おはなしのせかいへ」

テレビとは、一味ちがった楽しさを味わってみませんか。保護者の方も大歓迎どうぞ、お気軽においで下さい。

日時 一月二十七日(土)  
午後二時～二時三十分  
会場 中央公民館・二階和室  
対象者 幼児から小学生まで  
読み手 絵本講座会員有志  
問合せ先 中央公民館

### 老人クラブ連合会お楽しみ会にご参加を

第二十三回「老連お楽しみ会」を、次の通り開催いたします。

## ちよこつと一言

### 白いヘルメットと青いカバン

朝七時四十五分、白いヘルメット姿の少年少女が、この広い蒲原平野の一本道を、あえぎあえぎ自転車を漕ぎながら、黙々と登校する姿を見ていると、何とも言えない爽やかな気持ちになる。しかし、春夏秋冬、雨の日もあればすこい風の日もある。



矢代田第一 齋藤 勇さん

日時 二月十一日(日)  
午前九時三十分から  
会場 中央公民館三階ホール  
主催 町老人クラブ連合会

### 町民スキー教室

日時 二月二十四日(土)から二十五日(日)

会場 五日町スキー場  
定員 二十名(小学生は保護者同伴)  
参加費 大人 七、五〇〇円  
子ども七、〇〇〇円  
申込〆切 二月九日(金)まで  
参加費を添えて中央公民館へ

### 「21世紀県民の夢事業」(選考のための審査員募集)

21世紀という新しい時代の幕開けにあたり、豊かな県づくりに向けて県が取り組む、夢のある事業を現在、広く県民の方々から募集しています。寄せられた様々な提案の中から、県事業として実施する「21世紀夢大賞」を選定するための選考委員会の委員を公募します。

1 公募期間 締め切り 13年1月31日(水)  
2 応募・問い合わせ先 県企画調整部企画課長期計画班  
電話 025(280)5087  
FAX 025(280)5507

## VOICE & VOICES 私はある私を考える

中学校の校門に、「明るいあいさつ運動」の標語の旗が風にゆれています。私の近所に、この標語にぴったりの中学校の生徒さんがいます。ちよつぱり恥ずかしさの残る年頃なのに、朝は必ず「おはようございます」帰りは「こんちは」と、この八十歳を迎えた年寄りに明るく声をかけて行きます。

学校教育と家族愛が、見事に一つになった証明だともいえます。その生徒さんの名前はYMさん。いつまでも、その優しさと明るさを忘れずに美しく成長してください。

この年寄りからはなんのお礼もできませんが「言葉のプレゼント」を贈りたいと思います。たくさんさんの愛をありがとう。Mちゃんがんばってね。

※ご投稿頂きありがとうございます。一としよりより



## シリーズ「今、子どもたちは」(53)

### 美しいひととき

作品展が終った十一月の初旬に、フルートとピアノによるオーケムコンサートが遊戯室で行われました。普段、生の演奏を聞く機会が少ないので、園児たちの関心も高く、心待ちにしていました。

演奏者の巧みな話術に引き込まれ、子どもたちも聴いたことのある曲の演奏が始まると静かに耳を傾け、リズムに合わせて体を動かしながら聴いていました。

途中、ステージ脇に用意して置いたビールびんやポリ製の空きびんを教材に、容器の長さが違うと吹いた時に出る音の高さが異なることを教わ



## 文芸欄

棟梁の朝の段取り焚火かな 牧野信雄  
長き夜の病廊往き来赤子泣く 山崎しず枝  
極月の霞ひと粒ふたつ百 田沢 弘  
忘れ得ぬことも送りに松飾る 安達キヨノ  
狛犬の少し退屈神の留守 田中美根子  
カメハメハ大王像に月高し 中野太浪  
俳  
手話の手の終りは胸に冬の雷 坂井隆思  
減反をしても勤勞感謝の日 丸山虚秋  
冬紅葉更に濃くして雨上る 五十嵐香月  
柳  
十二支さまの横に並んだ宝くじ 保科一路  
老二人つつがなく行く新世紀 長井武雄  
川  
背広脱ぎ期待を胸に二度の職 渡辺信子  
新世紀平和を願う初詣で 小林みのる